

# インボイス制度について

令和5年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始されます。そのためには登録を受けることが必要となります。

インボイスとは、売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「消費税額等」の記載が追加された書類やデータをいいます。



## 生産者通信

(有)エコ・ライス新潟  
定価 100円(送料込)



<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>



生産者の皆様、ご安心ください。リモート説明会を行います!

10月18日(火) 13:30 ~ 14:30

## 「瀬祭」基準満たす山田錦

### 酒造 旭 3万5千円で購入

日本酒ブランド「瀬祭」で知られる旭酒造(山口県岩国市)はこのほど、今秋以降に収穫される山田錦について、高精白に適用している山田錦を1俵当たり3万5000円で購入することを決めた。

高精白には適していない。一方で小さい心白米は低評価だが、高精白に耐え得る上に、麴造りや発酵で優れた特性を発揮する」という。

同社は令和元年から「最高を超える山田錦プロジェクト」を展開。プロジェクトを通じ、むかしの酒米の等級制度と評価基準が必ずしも瀬祭の酒造りで求められる酒米の基準と一致しないことを認識したという。具体的には、「既存の評価基準で良いとされる大きな心白は精米時に割れやす

く、高精白には適していない。一方で小さい心白米は低評価だが、高精白に耐え得る上に、麴造りや発酵で優れた特性を発揮する」という。

「瀬祭」を基準として、高精白の中心に位置し、圧倒的な高精白の精米に耐えうるコメであること▽粒の大きさ、胴割れなどの被害の少なさなどに関する既存の穀物検査項目――を「瀬祭基準」に設定。いったんは既存の各県の山田錦や等級に準じた価格で購入するが、納品後に社内で再評価して瀬祭基準を満たすと判断した山田錦には1俵3

万5000円との差額を支払うこととした。3万5000円の理由は、「現在の山田錦は2万5000円前後だが、品質の優れた山田錦に対して過去最高値(約30年前の兵庫県産特上の山田錦の市場価格が3万1000円)よりも高い価値がある」と判断したためだ。

なお、同社の山田錦購入数量は3年産で20県から合計15万俵(9000ト)。コロナ禍で日本酒需要が低下して酒米の買い控えが問題になっているが、同社ではコロナ前と同水準で購入を続けているという。

なお、同社の山田錦購入数量は3年産で20県から合計15万俵(9000ト)。コロナ禍で日本酒需要が低下して酒米の買い控えが問題になっているが、同社ではコロナ前と同水準で購入を続けているという。

2022年8月15日 商経アドバイスより